



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



令和7年度

プラスチックごみゼロ・ 食品ロス削減・3R 取組事例集



令和7年(2025年)11月
滋賀県

目 次

プラスチックごみ／食品ロス／3R 現状と課題 1

プラスチックごみ削減の取組紹介

vol.1	大洋産業株式会社	2
vol.2	サウスジャパン株式会社	3
vol.3	甲賀高分子株式会社	4
vol.4	株式会社ミタカグループホールディングス	5
vol.5	中島商事株式会社	6
vol.6	東洋アルミエコープロダクツ株式会社	7
vol.7	サクラ食品工業株式会社	8
vol.8	株式会社ヨシハラクリーニング	9

食品ロス削減の取組紹介

vol.1	奥伊吹観光株式会社 GLAMP ELEMENT	10
vol.2	NTT滋賀支店大津ビル食堂	11
vol.3	株式会社かもしかリゾート	12
vol.4	中国料理 是的菜館	13
vol.5	びわ湖畔味覚の宿双葉荘	14
vol.6	株式会社ティーアールシー ホテルサンルート彦根	15
vol.7	田中酒造株式会社	16
vol.8	カツサンド&自家焙煎珈琲 マタリ	17
vol.9	株式会社大津給食センター	18
vol.10	共栄精密株式会社	19
vol.11	株式会社クレフィール湖東	20

3R(循環資源の再使用・再生利用等)の取組紹介

vol.1	株式会社平和堂	21
vol.2	有限会社橋本燃料	22
vol.3	一般社団法人 k i k i t o	23
vol.4	住江テクノ株式会社	24
vol.5	滋賀県立大学あかりんちゅ	25
vol.6	滋賀県立大学環境活動部LEAFS	26

令和6年度

「滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰」受賞者紹介

元三フード株式会社	28
滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合	30
株式会社Fast Fitness Japan	32
一般社団法人 フードバンクびわ湖	34
ONESLASH株式会社	36

本冊子では、県内においてプラスチックごみや食品ロス削減を始めとする3Rの取組を積極的に行われている事業所や施設・店舗、団体等の取組事例を紹介します

3Rで目指す社会

滋賀県では、令和元年8月、事業者、県民団体、行政を構成員とする「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」と県との連名で、「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を行い、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、これまでの取組を活かしつつ、より一層3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組を推進することにしました。リデュースはごみの発生そのものを抑制すること、リユースは何度も繰り返し使用すること、リサイクルは再び原材料として利用することです。

3Rの取組の推進を通じて、温室効果ガスを削減しCO₂ネットゼロに寄与するとともに、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済社会システムを見直し、循環型社会の形成を目指します。

宣言の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください



プラスチックごみ削減に向けた取組の状況

世界では、プラスチックごみが河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらしており、大きな課題となっています。さらには、近年、マイクロプラスチックによる環境への影響についても懸念されています。

こうした中、国は、プラスチックのライフサイクルに関わるあらゆる主体におけるプラスチックの資源循環の取組を促進することを目的に、令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行しました。

県では、令和3年3月に県民や事業者等のプラスチックごみ削減の手引きとなる「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」を策定し、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、県民、事業者、団体、行政等がそれぞれ役割を分担し、互いに連携・協力しながら、プラスチックごみゼロに向けた取組を推進しています。

「しがプラスチックごみ削減行動宣言」の実施事業者募集

令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されたことを踏まえ、使い捨てプラスチック製品の使用の合理化や事業活動に伴うプラスチックごみの発生抑制等の取組を実践する事業者の宣言を募集しています。この宣言を広く県民等へ周知することで、全県的な取組の拡大につなげていきたいと考えています。(宣言書の様式は、右の二次元バーコードからダウンロードできます。)



食品ロス削減に向けた取組の状況

我が国では、まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています。日本の食料自給率は低く、食料の多くを海外からの輸入に依存する中、世界では深刻な飢えや栄養不良で苦しむ人々が存在しており、食品ロスの削減は真摯に取り組むべき課題です。

滋賀県では、事業者、関係団体、学識経験者、国・県・市町等が連携協力を図りながら、近江商人が大切にしてきた「三方よし」の精神をもとに「三方よし！！」でフードエコプロジェクトを立ち上げ、食品ロス削減に向けた取組を推進してきました。一方、国においても、令和元年5月に「食品ロス削減の推進に関する法律」を制定し、食品ロスの削減を「国民運動」として位置付けるなど、削減の機運はますます高まっています。

こうした状況を踏まえ、県は令和3年3月に食品ロス削減の取組を具体化した「滋賀県食品ロス削減推進計画」を策定し、より一層取組を推進しています。

滋賀県食品ロス削減推進計画の詳細





1
vol.
プラスチックごみ
削減の取組紹介

大洋産業株式会社 (彦根市)



ペットボトルごみを削減するための浄水設備利用

「ビワコプロダクト」に選定

当社の浄水機器には、家庭や店舗を対象とした機器と、海水も飲用水にする世界最小クラスでハイパフォーマンスの機器があります。これらの浄水設備は、導入することでプラスチックごみ削減に向けた活動の一環としてペットボトルフリーを目指す製品であり、水環境保全に係る優れた技術やコンセプトに裏打ちされた製品として「ビワコプロダクト」にも選定されています。現在、上述と同じ原理の浄水または飲用向け設備は、滋賀県内



ベトナムでの浄水器導入

当社は、ベトナムに海外拠点を持ち、膜を利用してろ過する水処理装置(分離濃縮浄化など)を中心、その周辺技術も含めた水・液体処理設備、

施工、機械加工・組立にわたって日系やベトナム企業とのネットワークでお客様の問題解決を進めています。

当社ベトナム子会社の案件で、ベトナム・ダラットのビズップヌイバ国立公園(Bi Dup Nui Ba national park)の浄水設備があります。国立公園内でのペットボトルのごみをなくすために、公園内施設の中に水汲み場をつくり、そこで指定容器に水を入れて飲用にしてもらおうという取り組みの一環での設備導入(2020年)でした。地元中学生を対象にした1泊2日の環境教育プログラムが実施され、浄水施設が大変好評でした。

浄水設備を導入することで、プラスチックごみ削減に向けた活動が日本でも一層活発化して、当社の知識技術が利用いただけることを期待しています。



(ベトナム)水汲み場



2
vol.
プラスチックごみ
削減の取組紹介

サウスジャパン株式会社 (米原市)



プラスチックごみ削減に繋がる 再生プラスチックを原料とした製品化

弊社では、容器包装リサイクル法により各家庭から回収されたプラスチックごみを再商品化した製品を主な原料とし、他に顧客から回収したプラスチック製品を選別、切断、破碎しそれらも原料と



して再生プラスチックのみを100%使用した物流用パレットの製造、販売を行っております。



こちらのパレットは環境への負荷が少ない商品として「エコマーク」の認定を受けております。



またこのパレット製造時に発生した不良品やバリも切断・破碎しそれらを再び材料として使用することでプラスチックごみが発生しないよう努めています。

パレット以外では、顧客から出る廃プラスチック

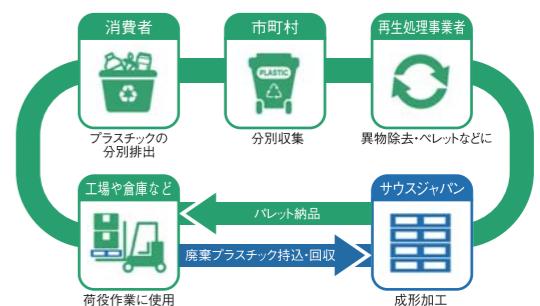
を協力会社へ依頼しリペレット加工したり、輪止めなどの製品にして販売しており、こちらの製品には検査機関にて測定した物性データを添付しています。



輪止め

なお、リペレットや輪止めはエコマーク認定外ではありますが、顧客企業から発生したプラスチックを使用することにより循環型リサイクルに協力しております。

弊社では、このようなリサイクル事業を通してサステナビリティ(持続可能性)を推進・実現するためにSDGsに積極的に取り組んでおります。



大洋産業株式会社

住所:滋賀県彦根市芹川町528 TEL:0749-22-6213 FAX:0749-26-0782
HP:<https://www.taiyosangyo.co.jp/>
設立:1951年2月 資本金:2500万円

業種:配管工事、鋼構造物工事業、検査機器・搬送機器などの部品加工・組立・据付や調整などのサービス、液体処理装置の設計・製作・据付や調整などのサービス

当社は、液体の処理に欠くことの出来ない化学プラント用バルブを主力製品として1951年(昭和26年)に事業を開始いたしました。そこで培つたノウハウを基に、精密部品の製造、検査装置(工場内省力化設備)の組立、プラント配管の工事、水処理装置の開発・製造を行ってまいりました。「お客様の視点」のニーズを追い求め、アイディアに富んだ装置などの製作をもってお客様の信頼にお応えできるよう技術開発・技能向上に取り組んでおります。

代表取締役社長 小田柿喜暢さん



サウスジャパン株式会社

住所:滋賀県米原市轟833
TEL:0749-21-0222 FAX:0749-21-0221
HP:<https://south-japan.com>
設立:2006年12月 資本金:1,000万円
業種:プラスチック成形加工、廃プラスチック売買、非鉄金属売買、輸出入事業、インターネット販売関連事業

弊社は、再生プラスチック100%の原料で製品を製造・販売することにより廃プラスチックのマテリアルリサイクルを行い、地域社会とともにプラスチックごみの削減及び資源の循環に貢献し地球環境の保全に努めています。



代表取締役
小山 栄治さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



vol. 3
プラスチックごみ
削減の取組紹介

甲賀高分子株式会社(湖南市)



バイオマス原料(トウモロコシ由来のでんぶん)を配合した袋

弊社は昭和47年、滋賀県初のプラスチックを主とする専門包装資材の会社を設立して以来、包装や物流にかかる高分子素材を中心としたプラスチック製品を企画・販売してきました。そして、環境問題が地球規模で叫ばれる今日、弊社が果たすべき役割は非常に大きく、意義あるものだと感じています。



バイオマスプラスチック使用例

製品仕様

【素材】でんぶん30%、

L-LDPE(低密度ポリエチレン)70%

【用途】汎用ポリ袋、レジ袋、

ファッショナブル袋など

【サイズ展開】フリー(受注生産)

●植物由来原料を30%配合し(一社)日本有機資源協会のバイオマスマーク認定取得(認証番号210297)

●L-LDPE(低密度ポリエチレン)100%の袋と比べ、ライフサイクル全体でCO2排出量を26.8%抑制

すべてオーダーメイドなので、サイズや印刷デザインはもちろんのこと、配合比率と原料についてもニーズに合わせて選定しております。例えば、でんぶんを51%配合することで容器包装リサイクル法やプラマークの対象外とすることや、トウモロコシのでんぶんの代わりに米ぬかを配合することで抗菌・消臭効果という付加価値をもつ袋にすることが可能です。



植物由来原料



甲賀高分子株式会社

住所:滋賀県湖南市石部北一丁目4番26号
TEL:0748-77-2456 FAX:0748-77-5141

HP:<http://www.koga-polymer.co.jp/> 設立:1972年 資本金:2,400万円

業種:高分子素材のハード&ソフトメーカー

概要:プラスチック製品を主体に色々な素材の包装・梱包用の資材、及び機械をお客様へ提供し、滋賀県発で関西、関東、中部へ営業拠点を展開しています。

高分子素材のハード&ソフトメーカーとして、プラスチックと共に50年歩んできた当社だからこそ、環境に配慮したプラスチックの利用促進を積極的に行ってています。例えば、協力会社様と連携し、お客様のところで発生したプラスチックごみを回収、ペレット化した上でPE袋に再加工して販売しています。こうした取り組みを通じて、持続可能な社会実現に貢献しています。



代表取締役社長
石田 秀幸さん



vol. 4
プラスチックごみ
削減の取組紹介

株式会社 ミタカグループホールディングス (湖南市)



ミタカのケミカルリサイクルとプレシャスプラスチック

ミタカグループでは、主に2つのアプローチから環境問題に取り組んでいます。

①廃プラを埋めない・燃やさない 第2のケミカルリサイクル

2023年10月のクリーンセンター滋賀の閉鎖をきっかけに、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクルができない廃プラスチックを製鉄用副資材「エコマイ特」に加工する機械を2023年12月に導入しました。異素材が付着している、汚れがひどいなどの理由からリサイクルが困難な廃プラと、鉄粉や粉体系の廃棄物を一緒に圧縮固化し、製鉄所でフォーミング抑制剤や加炭材として活用できる資材を製造しています。処分場閉鎖前には受け入れ廃棄物の約35%を占めていた埋め立て



エコマイ特▶

処分を、機械導入後は15%以下にまで削減することができました。今後は、稼働時間の延長と機械増設によって製造能力を増強することで取引先のリサイクル率アップに貢献していきたいと思います。

②リサイクルを自分ゴトに 「プレシャスプラスチック」



リサイクルを「自分ゴト」として捉えてほしいという思いから、弊社では年に数回プラスチックのマテリアルリサイクルを体験できるワークショップを開催しています。ペットボトルキャップなどの身近なプラスチックからコースターやアクセサリーなどを製作します。現在は滋賀県とフィリピンのセブ島でワークショップを実施しています。



株式会社ミタカグループホールディングス

住所:滋賀県湖南市高松町1番地2 TEL:0748-75-8002 FAX:0748-75-8003
HP:<https://mitakagroup.com/>

設立:2022年[株]三峰環境サービス 1988年、(株)MTK 2012年]

資本金:2,300万円

業種:事業系一般廃棄物収集運搬・処理、産業廃棄物収集運搬・処理、廃プラスチック由来製鋼副資材製造



甲賀・湖南地域で廃棄物処理業を創業してから40年近くが経ちました。気候変動や環境汚染が世界的な問題となる今、私たち廃棄物業者の役割はかつてないほどに大きなものになっています。単なる廃棄物処理ではなく、限りある資源をできる限り再活用する資源循環を日々行っています。環境保全の最前線に身を置く私たちだからこそ提供できる価値、サービスを通じて、弊社のミッションである「人と地球を笑顔に」を実現していきます。



代表取締役社長
三峰 敦代さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



毎月5日
vol. 5
プラスチックごみ
削減の取組紹介

中島商事株式会社 (東近江市)



リターナブルボトルの拡販によりプラスチックごみの削減へ

弊社は、2006年からミネラルウォーターの宅配事業『ウォーターネット』を展開しています。ご家庭・工場・事務所・施設などにウォーターサーバーを設置し、ミネラルウォーターをご利用いただけておりまます。職場環境の改善や福利厚生として、お湯や冷たい水をすぐに飲める「安心・安全・



便利」なミネラルウォーターです。近年、問題となっています熱中症対策にも最適で、各地域の小中学校や建設現場の事務所などで活躍しています。また、この『ウォーターネット』では環境に配慮した「リターナブルボトル」を採用しています。12ℓの「リターナブルボトル」1本を利用していくことで、500mlのペットボトル24本分の削減につながります。

そして、弊社は「わたSHIGA輝く国スポーツ・障害者2025」に協賛をしており、2025年の開催に向けたリハーサル大会(2024年9月28日・バレーボール)にウォーターサーバーを提供しました。来場者様向け、出場選手向け、運営スタッフ向けにそれぞれウォーターサーバーを設置し給水していただくことで、同時期に開催した別のリハーサル大会と比べて、ペットボトルごみを80%削減することが出来ました(回収したペットボトルのごみ袋の数により試算)。この会場では、紙コップでの提供も行いましたが、ご来場の方々が持参している「マイボトル」での給水を推奨することもペットボトルごみの削減につながりました。

今後も『ウォーターネット』の良さをより多くの方に知っていただくことで、環境問題の改善に貢献していきたいと思います。



中島商事株式会社

住所:滋賀県東近江市宮荘町61-5 TEL:0748-48-2301 FAX:0748-48-4757
HP:<https://www.nakajima-group.co.jp/>
設立:1963年5月 資本金:4,000万円
業種:エネルギー事業(LPG・一般高圧ガス・石油・太陽光発電)、住宅設備、リフォーム事業、ミネラルウォーターの宅配事業

エネルギー事業からスタートした弊社は、今ではリフォーム、ミネラルウォーターの宅配事業、生活支援サービスへと事業を展開し、個人、企業、店舗とさまざまなお客様と出会う機会に恵まれました。「昔も今もこれからも、地域のみなさまと共に」という企業理念のもと、お客様から「ありがとう」をいただける会社づくりを続けています。

滋賀県に産声をあげて、滋賀県に育てられた企業として、『しがプラスチックチャレンジプロジェクト』に賛同し、これからも持続可能な社会の実現を目指して参ります。



代表取締役
中島 智宏さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



毎月6日
vol. 6
プラスチックごみ
削減の取組紹介

東洋アルミエコーポラダクツ株式会社 (湖南市)



紙容器の高付加価値化で脱プラを推進

当社では、家庭用アルミホイル『サンホイル』などの日用雑貨品と、食品メーカー様や食品小売業様向けに食品容器を製造・販売する事業を営んでいます。会社の設立以来、滋賀工場でアルミ容器を製造・販売しておりますが、電子レンジの普及を背景に紙容器の開発にも取り組んできました。再生可能資源である木から生まれる紙を原料とすることで、環境負荷を軽減したいと言う考えを元にした取組です。



現在では耐熱性や耐水・耐油性能を付加した紙容器を多数展開し、冷凍食品で使われるトレーやコンビニエンスストアのお総菜用にプラスチック製容器の代替品としてご採用いただいております。直近の実績では年に1億枚を超える規模で出荷しており、その分だけプラスチックごみの削減につなげられたと言えます。

食品、特にお総菜の販売には衛生面や中身の保護の観点から容器が必要となりますので、環境負荷の低減や省資源化につながる紙容器を今後も拡販して参ります。さらに、紙以外の材料についても、内面に加工しているコーティング材をバイオマス由来の樹脂に変更するなど、環境負荷の低減につながるモノ作りを推進しております。



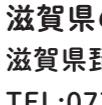
東洋アルミエコーポラダクツ株式会社 滋賀工場

住所:滋賀県湖南市高松町4-1(湖南工業団地)
TEL:03-5745-1421(東京オフィス) FAX:03-5745-1423(東京オフィス)
HP:<https://www.toyoolumi-ekco.jp/container/>
設立:1969年11月 資本金:2億円
業種:日用雑貨品・美容雑貨品の製造・販売
食品容器・成型品および包装資材の製造・販売

私たち東洋アルミエコーポラダクツは東洋アルミグループの日用品事業のメンバーです。「気がつけば暮らしのそばに」を合言葉に、お客様の暮らしのそばにいつも寄り添いたいと願っています。これからも、家庭用品も包装資材も、お客様にとってなくてはならないモノやサービスをお客様とともに創り出してまいりますので、一層のご愛顧をお願いいたします。



代表取締役社長
山口 正起さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



vol. 7
プラスチックごみ
削減の取組紹介

サクラ食品工業株式会社 (竜王町)



紙容器ミネラルウォーターの採用で 脱プラスチックを実現

弊社は、滋賀県竜王町に工場を構える食品製造メーカーです。竜王工場では、ポーションカップ製品製造ライン、カップゼリー製造ライン、アセプティック紙容器製品製造ラインの3つを保有し、日々様々な食品を製造しております。

この度、アセプティック紙容器製品製造ラインにて、紙容器にミネラルウォーターを充填した自社製品の販売を、2023年4月より開始いたしました。ペットボトルやアルミ缶と比較すると、大幅なプラスチックごみやCO₂排出量の削減が見込まれる製品となり、環境配慮商材として、紙容器市場が拡大をみせております。

今後は宿泊業界へ紙容器ミネラルウォーターを提案し、宿泊施設内のプラスチック削減をご案内してまいります。



サクラ食品工業株式会社 竜王工場

住所: 滋賀県蒲生郡竜王町大字岡屋2882番3
TEL: 0748-58-5290 FAX: 0748-58-5293
HP: <https://www.sakurayoshiokuhin.jp/>
設立: 1977年8月 資本金: 9,550万円
業種: ポーションカップ製品(濃縮飲料、調味料、ゼリー)、大口径カップゼリー(病院・介護食、嗜好品ゼリー、他)、アセプティック紙容器製品(介護食、飲料) 製造

2020年の竜王工場竣工より、近江商人の三方良しに環境を取り入れた四方良しを企業理念として取り組んでおります。業界を挙げた食品ロスの削減、そして避けては通れない環境問題に、近畿一円の水源である琵琶湖近郊に事業を構える立場として、従業員一同士気を高めてゆきたく思います。



代表取締役社長
藤原 拓さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845



vol. 8
プラスチックごみ
削減の取組紹介

株式会社ヨシハラクリーニング (彦根市)



プラスチックハンガーの回収・再利用

環境問題は、もはや全世界共通の社会課題であるなか、企業としての社会的責任を果たすことは必要不可欠です。クリーニング業界でも、環境への意識は年々高まり続け、当社は業界に先駆け、長年環境問題に注力しています。

プラスチックハンガーの回収・再利用

当社は使用済みプラスチックハンガーの回収・再利用にも取り組んでいます。ハンガーについては、年間約80万本使用するハンガー(1本あたり9.8g)を100%再利用することで、ハンガー7,840kg



分のプラスチックごみ、CO₂排出量削減を目指しています。なお、本取組の促進に向け、プラスチックごみの削減を目的に、店頭でのポイント割引サービスなども行っております。

『海をまもる洗剤』の量り売り

Save the Ocean株式会社(愛知県)が開発した『海をまもる洗剤』は、水と同様の中性洗剤であることから、すすぎ1回で済むため衣類が傷みにくく、また、排水が素早く分解され、自然に還ります。キッチンの汚れなど掃除にも利用できることから、1種類の洗剤で済み、ボトルは再利用できるのでプラスチックごみ削減につながる環境にも人にも優しい洗剤です。

当社はこれからも、『海をまもる洗剤』の量り売りサービスを提供する店舗を増やすことで、海を守るソーシャルアクションに寄与します。



株式会社ヨシハラクリーニング

住所: 滋賀県彦根市大堀町380-1
TEL: 0749-24-0425 FAX: 0749-24-0176
HP: <https://www.yoshihara-cl.co.jp/>
設立: 1981年5月 資本金: 1,373.5万円
業種: クリーニング店舗事業、宅配クリーニング事業、アライアンス事業

当社は1959年の創業以来、地域密着型のクリーニング事業を展開し、お客様のニーズに応える姿勢を大切にしてきました。初代は訪問クリーニングを通じて地域のお客様との信頼を築き、「誠実さ」を重んじて事業を成長させました。2代目では、地域の商業施設内への店舗展開を進め、気軽に利用できるクリーニングサービスとして地域生活のインフラを担うまでに至りました。この取組により、当社は「身近で便利なクリーニングサービス」として広く認知されるようになりました。私の代においては、時代の変化に合わせた進化を追及し、IT技術を活用した宅配クリーニング「せんたく便」を立ち上げました。これにより全国どこからでも利用可能な新たな価値を提供し、業界の枠を超えた利便性を実現しました。

代表取締役社長 吉原 保さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845



三方よ!!でフードエコプロジェクト

奥伊吹観光株式会社
GLAMP ELEMENT (米原市)

食品ロス削減の
取組紹介
vol. 1

地産地消で自社内かくれフードロス + ニーズの把握



新しい宿泊の形「グランピング」施設として、2017年6月より開業。グランピング施設では初となるオールインクルーシブ制を導入、食事のサーブから後始末までスタッフが行い、何もない贅沢を心ゆくまで堪能できるリゾート施設です。

当施設では朝夕と食事が必ず付属するため、多くの新鮮素材が必要であり、且つお客様要望も多種多様であるため、食材の端材等のロスが大量に出る環境下がありました。そこで、当グループが同じ米原市内で「道の駅」を運営していることから、そちらの地産地消の新鮮野菜を食材として使用する取り組みを始めました。



この取組によって、新鮮であるにも関わらず不揃いやキズのため売り物になりにくい野菜も、調理食材として使用し廃棄を削減することができます。また、調理過程で出る端材は、別メニューで流用し廃棄量を減らす、無駄を無くす工夫を行っております。

さらに、お客様のご予約の最終確認を行う際に、苦手食材・アレルギー等の嗜好把握を行う事で、食品ロス削減に貢献出来る上に、お客様満足度にも大きく繋がっております。自社内間の「かくれフードロス」として、両施設にて食品ロス削減に努めています。



奥伊吹観光株式会社

住所:滋賀県米原市甲津原530 TEL:0749-59-0322 FAX:0749-59-0430

HP:https://www.okuibuki.jp/group_list/

創業:昭和45年6月 資本金:2000万円

業種:スキー場やグランピング施設、キャンプ場、ビーチリゾートからモーターパーク、道の駅などのレジャー施設・観光施設を運営。『2070年地域の子どもたちにスキーを』を理念に掲げ、1.住み続けられる街づくり 2.積極的な温暖化防止 3.人材を中心とした経営基盤強化。これら3項目を核とした目標設定を行い中長期での観光と、地域そして環境の共存を視野に新たな観光のあり方を提唱、実践してまいります。

滋賀県の伊吹山の麓に位置するグランピングリゾート「グランエレメント」。ここは、世界を形づくる、火・風・水・土の4元素を肌で感じられる場所。バーベキューやキャンプファイヤーの炎、肌をくすぐる心地よい風、広い池に満たされた清らかな水、背後にそびえる伊吹山と豊かな大地。どれもが非日常の楽しみを演出する特別な要素。五感のすべてで癒されるくつろぎの場所でゆっくりお過ごしください。美しい自然のなかで、非日常を存分にご堪能ください。



GLAMP ELEMENT
ゼネラルマネージャー
鳴田典夫さん

三方よ!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よ!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よ!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



三方よ!!でフードエコプロジェクト

NTT滋賀支店大津ビル食堂 (大津市)

食品ロス削減の
取組紹介
vol. 2

地産地消と計画調理でごみゼロチャレンジ

計画調理でごみゼロチャレンジ

いま一つ、取り組みを進めているのが、計画調理です。プラストチラー(冷却機器)を使用し、調理した料理を冷却保存し、提供時に再加熱を行い、食品の安全性、美味しさを高めながら、計画調理による食品ロス軽減に努めています。



プラストチラー

その他、ご飯の分量を選択していただいたり、メニューの付け合わせの見直しにより、ごみゼロチャレンジに取り組み、生ごみの廃棄量は昨年比20%減となっております。

今後は「しがプラチャレンジ」にも積極的に取り組み、食品ロス削減と合わせて、廃棄物減量を推進し、ごみゼロチャレンジを継続してまいります。



代表社員
土谷 善次さん

合資会社宝山亭

住所:大津市浜大津1-1-26NTT大津ビル食堂内
TEL:077-523-4473 FAX:077-524-5588
設立:2000年3月

弊社は1964年、今の浜大津にビルが移転してから事業所給食(当時、日本電信電話公社)を受託し、2000年に法人を設立、長年にわたりNTTの社員様に対しまして、食を通して「健康」を提供することを願い、近江米や滋賀県産の野菜を使用し、地産地消に取り組んでおります。そして、社員様だけではなく、弊社スタッフを含め、お互いが元気に頑張れる社員食堂をめざしております。

三方よ!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よ!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よ!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





三方よし!!でフードエコプロジェクト

食品ロス削減の
取組紹介
vol. 3

株式会社かもしかリゾート(甲賀市)

食材の廃棄を極限まで少なく

滋賀と三重の県境、前に野洲川の源流が流れ
壮大な鈴鹿の峰々に抱かれた自然豊かな地で、
自然と調和しながら悠久の時間が流れる「甲賀の
奥座敷 大河原温泉かもしか荘」です。

食材の廃棄

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合では令和3年からSDGsに取り組んでおり、その一環として食品ロスを削減するという意識がありましたが、以前提供していた料理には毎月多くの食材の廃棄が出ていました。そこで、令和6年に料理長が変わった際にランチメニューの大幅な見直しと品数の増加を行いました。これまで廃棄していた食材を上手く使うことで廃棄を極限まで減少させる

とともに、お客様にもっと美味しい料理を食べてもらい



タンシチュー



ハンバーグランチ

たいという思いから取組を始めました。レストランでは、提供する料理の調理過程でどうしても出てくる野菜のへたや皮、お肉の筋といった、本来なら廃棄する部分をソースの材料として使用しています。その他にも、これまで廃棄していた部分を出来るだけ利用できるメニューを多く考案しています。

食べ残し問題

サラダ&スープバーを取り入れることで、お客様自身で食べる量を調整していただくことができ、食べ残しが無くなりました。食べ残しの問題については今後お持ち帰りなどを強化したいと考えています。この取組で食材の廃棄と食べ残し削減にかなりの効果がありました。今後も食品ロスゼロを目標に、料理長の立場よりSDGsを考えていきたいと思います。



株式会社かもしかリゾート

住所:滋賀県甲賀市土山町大河原1104 TEL:0748-69-0344 FAX:0748-69-0370
HP:https://www.instagram.com/fuse_macaron_chocolat/

設立:2017年9月 資本金:300万円

業種:甲賀の奥座敷 大河原温泉かもしか荘の管理運営、大河原温泉アウトドアヴィレッジかもしかオートキャンプ場の管理運営、KAMOSHICA EXの経営、KONZEかもしかキャンピングヴィレッジの経営、かもしか葛川森のキャンプ場の経営



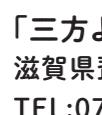
総料理長の本道政利です。料理人の技術は、お客様に美味しい料理を食べてもらい、食を通じて大河原温泉かもしか荘に訪れていたお客様に良い思い出を提供することだと思いますが、料理を作る際に食材の廃棄を極限まで減少させることも大切な技術です。料理長としてSDGsに取り組んでいます。



総料理長
本道政利 さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



三方よし!!でフードエコ・プロジェクト

シーダサイカン 中国料理 是的菜館(近江八幡市)

無駄のない食材の確保と食材の使い切り、 テイクアウトの活用

中国料理 是的菜館(シーダサイカン)は地元食材で本格中国料理をお楽しみ頂けます。ランチタイムはデザートまでついたお得なランチセットと人気料理を集めたコース料理、ディナータイムは豊富な単品メニューと豪華なコース料理、飲み放題の付いた宴会プランは各団体様にご好評頂



き、レストランでの少人数様の個室利用から140名様がご利用頂ける宴会場もご用意致しております。

料理のボリュームもあり食べきれない料理を廃棄する事があり、お客様にお持ち帰り頂く取組を始めました。また、事前に料理のボリュームがある事をお伝えするように致しました。お持ち帰りでき

ることをお客様に大変喜んで頂き、また料理のご注文のしすぎも無くなりフードロスが削減出来ました。

料理のボリュームも好評を頂いておりますが、全てのお客様がテイクアウトできるわけではありませんので、今後はお客様にご満足いただける様に料理の量の調整もさせて頂き、よりお楽しみ頂ける料理とおもてなしと居心地のよい空間づくりに努めさせて頂きます。



シーダサイカン 株式会社ハオチーワン(中国料理 是的菜館)



住所:滋賀県近江八幡市中村町21-6 グリーンホテルYes近江八幡内
TEL:0748-34-3700 FAX:0748-34-3701

HP:<http://www.haochi-1.net> 設立:2016年6月 資本金:100万円

業種:中国料理是的菜館は少人数様からご利用頂けるレストランと約140名様(2階フロア完全貸切立食200名様)収容の宴会場をご用意致しております。レストランではデザート・食後のお飲み物がセットになったお得なランチセットとランチコース、ディナーは旬の食材を使用したコースと単品料理、宴会場では飲み放題付のプランや会議などのご利用も頂いております。



総支配人兼営業部長
甲藤雅也 さん

是的菜館では本格中国料理をお楽しみいただけます。本場中国の調理経験と営業兼膳師の資格を持つ料理人と中国での国家資格をもつ中国面点師の本格飲茶をお料理とともにお楽しみ頂けます。お部屋も少人数様から宴会場もご用意させて頂き、WEB会議や総会・同窓会・歓送迎会・忘新年会など1年にわたり毎年多くのお客様にご利用頂いております。お客様がまた来たいと思える是的菜館を目指しスタッフ一同頑張ってまいります。

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よし!!
よし!!
よし!!



三方よし!!でフードエコプロジェクト

食品ロス削減の取組紹介
vol. 5

びわ湖畔味覚の宿双葉荘(彦根市)

地産地消がもたらす食品ロス削減と地域振興

旅館料理といえば、お刺身は鮒に烏賊、海老のてんぱらに茶碗蒸し…どこか同じようなものが並んでいるような気がします。昔はこれが一番のおもてなしとして、贅沢品を提供していたのだと思いますが、びわ湖には鮒も烏賊も泳いでいません。それよりも、琵琶鱈や鮎、海老豆や「じゅんじゅん」など、滋賀県ならではの食材や食べ方、料理などを旅行者に提供できればと思い、約15年前から方針転換しております。地元の湖魚や食材を利用することで、地域経済の助けにも繋がります。また、農業・漁業の担い手の方がいらっしゃないと「地域」も「文化」も無くなってしまいます。滋賀県各地には地域の名前の付いた野菜や果物

当館でのお食事は滋賀県でこれを食べた、という印象を持っていたため、懐石料理のような多種多様なものが並ぶわけではなく、旬の食材と、琵琶鱈・近江牛を食べた!とわかつてもらうような品建にております。具体的には八寸(前菜)もボーション(1皿分の分量)を大きくし地元野菜の素材を生かした提供を心がけております。ご家庭でも多くの食材を使うとどうしてもロスが出ますので、今日はこの食材で作り切ろう!という取り組みをしていただくと、食品ロスの削減にもつながります。



が多くあり、それらはどれも滋味に溢れたいい味を出していると思います。

彦根の松原に宿を開いて約60年。びわ湖のさざ波の音を聴きながら、日々の喧騒を少し忘れて、大切な人との時間をごゆっくり味わっていただければ、あなたのみつめのおうちとして、びわ湖のそばでお待ちしております。



びわ湖畔味覚の宿双葉荘

住所:彦根市松原町1377 TEL:0749-22-2667 FAX:0749-26-2936
HP:<https://www.futabasoh.com/>
設立:1969年11月
業種:旅館業

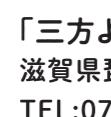


片岡 良介さん

地域があつての旅館・宿泊業・観光業だと思います。彦根や滋賀県の良いところを伝え、びわ湖の恵み、滋賀県の5/6を占める大地の恵みを多くの方に無駄なく、美味しく提供できれば、お客様も、地域も益々元気になっていくと思います。靴の紐をゆるめるように、身も心も寛げる空間をご用意してお待ちいたしております。

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



食品ロス削減の取組紹介
vol. 6

株式会社ティーアールシー ホテルサンルート彦根(彦根市)

お客様と共に持続可能な社会を!

2024年で創業40周年を迎えた弊社では、結婚式を始め多様な宴会・研修・会議を承ってまいりました。若い方の宴会から80歳代の同窓会まで多種多様な宴会を承っております。以前は一律金額によりメニューを決めておりましたが、最近は、幹事様との事前の打ち合わせによりお客様のご要望をお聞きし、適切な量のお料理を提供するようになっております。宴会が終わった後の食品ロスがなるべく少なく済むように、お客様に満足感があるように、特に最後の10分は着席をしていただきお料理を食べていただくことを心がけております。食材におきましても、地産の食材をできるだけ用いて新鮮な食材をその日必要な分だけを仕入れ使い切るように心がけております。

また、宿泊におきましても、お客様にアメニティのプラスチックごみ削減を呼び掛けております。ご自宅よりのアメニティの持参、不必要的アメニティの不使用を呼びかけ、客室には歯ブラシのみご用意させていただき、あののブラシなどのアメニ



ティはフロントにて必要な方が必要な数だけを部屋に持ち込めるようにしております。今後は滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合とともに2030年にプラスチックごみ「0」を目標に取り組んでまいります。我々だけではなく、ホテルをご利用のお客様にもご理解をいただき持続可能な社会を作りたいと思います。



株式会社ティーアールシー

住所:滋賀県彦根市旭町9-14 TEL:0749-26-0123 FAX:0749-26-0686
HP:<https://sunroute.net>
設立:1984年1月 資本金:1000万円 業種:ホテル業

弊社が運営いたします「ホテルサンルート彦根」は彦根駅前にて40年の歴史を持ったホテルです。年間多くのご宴会を受けさせていただき、食品ロス削減に関しては大きな問題と認識しております。できるだけ美味しい多くの物を食べて頂き満足して帰って頂きたいという思いでお客様を迎えておりますが、近年一番大切にしているのは事前の打ち合わせによりお客様のご要望をお聞きするということです。年齢、性別、宴会内容によって食品ロスを削減できると考えております。ニーズにあつた宴会料理によりお客様が喜んで帰っていかれることを願っております。

代表取締役 田井中 徹さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





三方よし!!でフードエコプロジェクト

食品ロス削減の
取組紹介
vol. 7

田中酒造株式会社(甲賀市)

産業廃棄物 酒粕の積極的活用と地域連帯 ~発酵の力でおいしく健康に!~



当社では、酒粕を使ったお菓子・パン・スイーツ・ランチによる新たな酒粕の活用方法を見出し、滋賀の就労支援所と連帯して、地域の特産品や健康食材としての酒粕をアピール・発信しています。

原材料の酒粕自体は当社の製造物になりますが、さけかすまかろん・酒粕ポルポローネ(クッキー)は大津のがんばカンパニーさん(就労継続支援A型)、酒粕パンは甲南町coccalaさん(就労継続支援B型)にお願いして作ってもらっています。酒を造る過程に出来る酒粕はそのほとんどは産業廃棄物として処分されます。高い栄養素(食物繊維・免疫力向上・ビタミンB群、アミノ酸)を持つ酒粕・米麹を



健康食材として使用した料理のレシピを紹介し実際にランチとして提供、酒粕の力・魅力をお客様に手に取って感じてもらいたいと考えました。

現在では、新たに酒粕パンとランチに使っている酒粕ハンバーグをコラボさせた酒粕パンバーガーや地元野菜を酒粕麹のディップでいただくセイロ蒸しなど、レパートリーを増やしてお客様に喜んでいただいております。このように新たな形で酒粕の活用を通して酒粕の廃棄量を年間1トン以上削減することに成功しました。廃棄した製造副産物を工夫を凝らして活用し、地域と連帯して、地域の特産品として、また健康食品として活用ていきます。要らなくなつたものとしてすぐに捨てるのではなく、新たな活用方法を模索して地域で取り組んだことに他社さんからも注目をいただいているます!



田中酒造株式会社

住所:滋賀県甲賀市甲賀町大原市場474番地 TEL:0748-88-2023 FAX:0748-88-2261

HP:https://www.harunomine.com

設立:1911年 資本金:1000万円

業種:創業は1911年、五代目となる当主が銘酒「春乃峰」をたった一人で醸しています。経営理念「和醸良酒」~良い酒は和を醸す~人の和を大切にして酒を造り和をもって商いをしていきたいをモットーに取り組んでいます。

酒造業の傍ら販売所を兼ねたカフェを2011年より営業!現在は週末ランチと銘打って金・土・日と酒粕・麹を使ったお食事の提供を行っています。

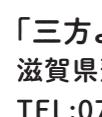
昔は奈良漬など各家庭で毎年仕込まれていた粕漬ですが、主原料である酒粕は近年ではすっかりその用途を失い、各蔵元で厄介者として扱われて、最終、産業廃棄物として処分されていることはあまり知られていません。子供の頃から慣れ親しんだ酒粕がこのような形で蔵から出していくことがとても残念でなりませんでした。当社スタッフの熱心な研究心、地域の方々のご協力をいただきながら、廃棄物として扱われるはずだった酒粕がこうして目の目を見ることができ、生産者としても大変喜んでおります。



代表取締役
田中 重哉さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



食品ロス削減の
取組紹介
vol. 8

カツサンド&自家焙煎珈琲 マタリ(大津市)

無駄のない食材仕入れと食べ残しを減らす工夫

1958年に大津で純喫茶として創業。現在は石場駅から徒歩1分、公園のなかという珍しい立地にあります。

『お財布に優しく満足感を大切に!』をモットーとし、物価高騰に対して食品ロス削減は値上げを最小限に抑え、お客様への還元に繋がると考えております。

①無駄のない食材の仕入れ

コロナ禍、営業自粛等の規制が求められ当店もやむなく夜は休業。反面、ランチタイムはテイクアウトのニーズが高まり、『日替わり定食』や『カツサンド』などの持ち帰りができると、電話予約ができるとSNSで周知を強化。現在も営業は平日の11時30分から14時までのみとしております。営業時間を限定する



こと、つまりメニューを限定することで食材は最適化され無駄のない仕入れに努めております。

②食べ残しを少なくする接客

定食やカレーの『ご飯』は多めにし、お客様の満足感を大切にしております。しかしお客様は年齢や性別も様々、同じ量のご飯を提供した場合食べ残しが発生いたします。その際、お客様に次回は『ご飯』の量を少なくすることができるご案内させていただいております。また再来店時にご飯の量を記憶しているスタッフがおります。結果、食べ残されるご飯の量は大幅に減少しております。



マタリ

住所:滋賀県大津市打出浜4-14 TEL:077-522-6172

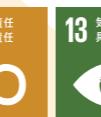
Instagram:https://www.instagram.com/matari_1958/

X:https://x.com/matari_cafe

設立:1958年

当店は『安い!早い!うまい!お財布に優しく満足感を大切に!』をモットーとしております。名物は『カツサンド』と『自家焙煎珈琲』です。カツサンドは塊肉から1つ1つ切り出し、すべて手仕込みです。自家焙煎では大津で一番古く、店頭の焙煎室で生豆を1種ずつローストしブレンド。サイフォンで淹れます。是非お立ち寄りください。

代表 大畠 実さん



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





三方よ!!でフードエコプロジェクト

食品ロス削減の
取組紹介
vol. 9

株式会社大津給食センター（大津市）

「SDGsメニュー」で三方よしとフードエコに取り組む！

滋賀銀行本店食堂を受託しております株式会社大津給食センターです。昨年受託60周年を迎えました。

2018年に第2回「ジャパンSDGsアワード」において地方銀行で初となる特別賞を受賞された滋賀銀行。1番身近にある食を通してよりSDGsを推進したいという総合企画部様の考えに賛同し、毎月2回「SDGs関連メニュー」（料理メニュー、デザートメニューを各1回）を提供しています。

脱炭素などの環境課題の解決につながる大豆ミートや地産地消食材を使った料理、フェアトレード商品、豆乳、通常だと廃棄されてしまう規格外フルーツ使用のデザートなど、生産者（フェアトレード・廃棄削減）、職員（健康）、環境（脱炭素）の「三方よし」にもなるこの取り組みは毎回ご好評をいただいております。



また忙しい毎日の中、食堂でのつかの間の時間に気分がホットするようなPOPの作成やスタッフの明るい接客、日替わり定食



種のうちカロリーを抑えた健康メニューの表示、ごはん量の大中小選択などお客様の心と身体の健康に寄り添った運営を心がけています。

毎日利用していただくお客様に飽きることなく食べられる美味しいメニューを、との想いから一昨年より惣菜小鉢の既製商品使用をやめ、本社セントラルキッチンでの出来たて日替わり惣菜に変更しました。完売になる日も多く、フードロス削減にもつながっています。



今後はデータ分析による見える化で売れ行きや人気メニューを見定め、アイテムの見直しや適正な食数設定による「ごみゼロチャレンジ」にも力を入れ、人や地球に優しいフードエコとSDGsを推し進めていきます。



株式会社大津給食センター

住所:滋賀県大津市別保三丁目11-35
TEL:077-537-2807 FAX:077-537-3205

設立:1953年

業種:企業内食堂の運営受託・幼稚園弁当製造、配達・児童クラブおやつ事業



マネージャー
村上 尚さん

食堂がある9階は景観が大変素晴らしい、利用していただくお客様がさらに気持ち良くなる接客を心がけています。前年や前月の利用数を参考に、調理量を適正に管理することで、日々の食品ロスを出さない取り組みをしています。栄養価も考え、白米以外に麦ごはん（または五穀米など）を選べるようになるなど、ヘルシーメニューにも力を入れており、お客様からも喜んでいただいている。これからも食を通して心が繋がるような食堂を目指します。

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



食品ロス削減の
取組紹介
vol. 10

共栄精密株式会社（東近江市）

規格外品の販売による地域との繋がり

共栄精密株式会社は半導体等の製品を検査する仕事を主軸にしていますが、リーマンショック時に雇用を守る為に他の仕事も創る必要がありました。何かするのであれば、人の役に立つモノを作りたいとの想いで、栄養価豊富と言われながら、当時は中国産の乾燥品しかお店に並んでいなかったきくらげの栽培を始め、生の国産きくらげを全国に広めました。

ただ、農産品ですので、どれだけ管理していても不揃いな形の悪いきのこも出来てしまい、それらはスーパー等では買い取って頂けず廃棄される事もあります。買い取って頂けないのであれば、自分達で販売すれば食品ロスを防ぐ事が出来るとの想いもあり、直売所「よかもんショップ」をオープンしました。



よかもんショップでは不揃いなきのこをお手頃価格で販売したり、それらを使用した加工品を販売する事により廃棄されるきのこを減らしています。

地元飲食店さん等にも協力頂きマルシェやイベントを繰り返し行ない、徐々に認知される様になりテレビ取材を受ける事もありました。

リピートして頂けるお客様も増え、よかもんショップの取組や意義は地域の皆様のコミュニティを通じて広げて頂いています。



今後は食の分野でも「環境配慮」が必須になってきます。共栄精密株式会社では栽培面においても循環型農業を目指し、極力ごみを出さない栽培方法を行なっています。この様な取り組みを継続しSDGsにも繋げていきます。

共栄精密株式会社

住所:滋賀県東近江市沖野4-5-33 TEL:0748-22-3139 FAX:0748-23-7239
HP:https://www.kyoei-seimitsu.co.jp/
設立:1970年3月 資本金:1000万円
業種:エレクトロニクス事業、アッセンブリー事業、アグリフード事業
アウトソーシング事業、スタッフィング事業

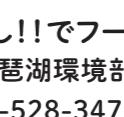
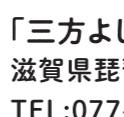


アグリフード事業部
班長
林 裕輔さん

きのこ類は腸活や菌活と言われる様にカラダの内側から健康に役立つと言われています。その中でも、きくらげは鉄分も多い為、貧血予防にも良いと言われています。他のきのこ同様にカロリーも少なく食物繊維も豊富ですので、腸内環境を整える効果も期待出来ます。その様な万能きのこを「形が悪いだけ」「サイズが不揃いなだけ」で消費されずに廃棄してしまうのは非常に勿体無い事です。スーパー等には出荷出来ない見た目でも、味や栄養価は変わらない為、自社直売所では販売出来ます。これらのきのこを消費して頂く事により、地域の皆様と共に食品ロス削減に取り組んでいきたいです。

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よし!!
よし!!
よし!!



三方よし!!でフードエコプロジェクト

食品ロス削減の取組紹介

vol. 11

株式会社クレフィール湖東(東近江市)

お客様のニーズに合わせたメニュー構成で 食べ残し削減に取り組む

当ホテルは、レストラン、研修室などのあるセンター^{ゾーン}、交通安全研修ができる交通教育ゾーン、物流技術研修ができる物流教育ゾーン、グラウンドゴルフをお楽しみいただけるスポーツゾーンで構成されており、「学ぶ、くつろぐ、遊ぶ」というコンセプトを持った施設です。

敷地内には2016年に開園した「こども交通公園」も併設しており多くのお客様にご利用いただいております。

食品ロスについては、交通研修を受講されるドライバー系の方から研修室を利用される事務系のお客様が居られ、お食事を召し上がる量にも違いがあるため、料理長がそれぞれに適したメニュー内容を定期的に見直し食品ロス削減に努めています。

また、ご飯の量はお客様自身で盛り付けていただき、お客様にも食品ロス削減にご協力いただいています。

こうした取組を、少しづつ積み上げて食品ロスが少しでも減っていくよう活動を進めていきたいと思います。



株式会社クレフィール湖東

住所:滋賀県東近江市平柳町22-3 TEL:0749-45-3880 FAX:0749-45-3875
HP:<https://www.crefeel.co.jp/>
設立:1996年7月

クレフィール湖東は1996年7月に開業いたしました。
最大120名収容できる宴会場を完備しており、同窓会や各種ご宴会等さまざまなシーンでご利用いただけます。
おもてなしの心で「特別な時間」を「特別な人」とお過ごし下さい。
スタッフ一同からお待ちしております。

レストラン事業部マネージャー 松田 努さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは…

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」を取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



循環資源の再使用・
再生利用等の取組紹介

vol. 1

株式会社平和堂(彦根市)



衣料品回収「MUDAZEROプロジェクト」

「MUDAZERO」プロジェクトは、回収した衣料品を糸や生地としてリサイクルし、新たな衣料品として生まれ変わらせる衣料品の回収・再生プロジェクトです。

平和堂では対象店舗の衣料品売場に衣料品回収ボックスを常設し、お客様がお買い物ついでに気軽にリサイクルに参加できる環境を整える

ことで、衣料品の廃棄削減に取り組みます。

回収した衣料品からリサイクルした再生糸を使った商品はすでに店頭で販売しており、お客様から好評を得ています。

これからも平和堂は、お客様、お取引先とともにできることから少しづつ、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めてまいります。

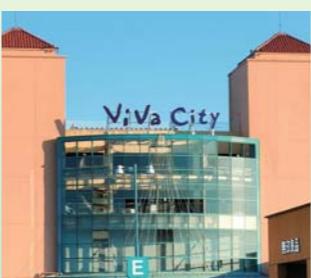
「MUDAZERO」プロジェクト 実施内容

回収実施店舗	平和堂、アル・プラザなど37店舗
回収場所	対象店舗の衣料品売場
回収対象品	平和堂でお買い上げいただいた衣料品
回収対象外品	肌着・下着類、水着、スーツケース、靴、傘、ベルト、帽子、マフラー、ネクタイ



株式会社平和堂

住所:滋賀県彦根市西今町1番地 TEL:0749-23-3150 FAX:0749-23-3118
HP:<https://www.heiwado.jp/>
創業:1957年6月 資本金:116億1437万円
業種:食料品・衣料品・住居関連品等の総合小売業



平和堂では37店舗において衣料品を店頭回収しており、多くのお客様にご利用いただいています。服から服へ生まれ変わるリサイクルで、持続可能な社会の実現に向けて衣料品の店頭回収にご協力ください。

担当 ショップ事業部



滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

